



～太陽と海と緑～観光文化のまち～

もとぶ

2020年

4月



本部高校

卒業式

それぞれの夢に向かって
踏み出す新たな一歩

目次

- 令和2年度施政方針…………… 2～7
- 瀬底小学校創立130周年記念式典・祝賀会 ほか…………… 8
- 情報ひろば…………… 9～11
- 八重岳桜にお礼肥入れ ほか…………… 12

私たちの町

令和2年2月29日現在

世帯数	6,399 世帯 (+19)
人口	13,175 人 (+7)
男	6,706 人 (-1)
女	6,469 人 (+8)
	() 前月比



**令和2年度
住民健診が始まります!**

詳しくは10ページへ



ふるさとの美しい自然を愛しみどりの町をつくります(本部町民憲章より)

令和2年度

施政方針

はじめに



という^{ほろほろ}進む^{ほろほろ}思いを、ますます^{みなぎ}漲^{みなぎ}らせているところであり
ます。

さて、現下、地方財政を
取り巻く環境が厳しい中、
本町においては、さまざま
課題があり、その課題を二つ
ひとつ解決すべく、取り組
んでいるところでもあります。

令和2年第3回本部町議
会定例会の開会にあたり、
令和2年度予算案をはじめ
とする諸議案の説明に先立
ち、町政運営の基本的な考
え方と主要施策について、
その概要を申し述べ、議員
各位並びに町民の皆様のご
理解とご協力を賜りたいと
存じます。

令和2年度は、私が町長
に就任をして、2年目を迎
えます。町政運営を担うに
あたり、今、改めて付託さ
れた責務の重さを感じてい
るところであります。町民
の皆様とともに、この本部
町を活気溢れる町にしたい

特に、少子化に伴う人
口減少が大きな課題となっ
ており、人口の減少への歯
止めをかけるべく、子育て
をし易い環境を整えている
ところでもあります。今後
も、ハード、ソフト両面か
ら、子育て世代への思い切っ
た支援に取り組んでまいり
ます。また、商工業・観光
業・農業等の産業づくり、
学校教育における教育環境
の整備、医療・福祉などへ
の迅速かつ積極的な対応を
図っていく必要があります。
これらの対応に向けて、令
和2年度一般会計予算は、
総額86億4千8百万円を編

成いたしました。限られた
財源の中で、私の目指す「日
本一心豊かな町づくり」を
実現すべく、町民および
関係機関と一体となり、着
実かつ積極的に行政運営に
取り組んでまいります。

令和2年度 主要施策の概要

次に令和2年度における
主要施策の概要について申
上げます。

第1に、「まちづくりの施 策について」申し上げます。



ります。

私は、まちづくりの基本
姿勢として、町民生活の
豊かさを第一に据えて、融
和(全ての町民が打ち解け
て和を保つ)・協調(全ての
町民が譲り合って協力を)・
個性(全ての町民が個性を
大切に)を大事に、物の豊
かさと同時に、地域住民
の心の豊かさを大切に、引
き続きこれからも、まちづ
くりの基本的施策といた
します。

令和2年度は、各行政区
および任意団体の活性化を
促進するため、「こころ豊
かなわがまちづくり推進事
業」の更なる拡充を取り組
んでまいります。

また、高齢化が一層進行
する中、移動販売車による
買い物支援などの高齢者に
優しいまちづくりに取り組
んでまいります。

また、高齢化が一層進行
する中、移動販売車による
買い物支援などの高齢者に
優しいまちづくりに取り組
んでまいります。

まちづくりにあたっての
本年度の主なハード事業に
は、瀬底島一周線道路改築
事業、健堅本部落線道路改
良事業、満名川線道路整備
事業、新里地区の農業基盤
整備促進事業、上本部小中
一貫校のグラウンド整備事
業、嘉津宇団地新築整備事
業等を計上しております。

本町の北の玄関口として
位置づけられているハーソー公
園については、開園から10
年が経過しました。今後に
ついては、町民本位で子育
て世代がくつろげる場、高
齢者の健康づくり拠点の場
としての施設になるよう、
町民全体で活用する体制の
構築を検討してまいります。

ソフト関連事業につきま
しては、一括交付金を活用
し、本部町学力向上学習
支援事業、本部港本土航路
開設支援事業、ハブ咬傷防
止事業、農水産業担い手支
援住宅整備事業など、13事
業を実施することにしてお

また、「経済をつくる・
稼げる拠点づくり」のた
め、その整備を検討してま
います。
昨年度は、海洋博公園内
において、「もとぶ市場」を



第2に、「産業の振興について」申し上げます。

6回開催し、特産品のPRを実施いたしました。国営沖縄記念公園事務所および沖縄美ら島財団等との連携をさらに深めていき、今年度も引き続き本町の活性化に繋げてまいります。

これらのまちづくりを行うにあたり、情報発信は必要不可欠なツールであります。今後とも町の存在を高めるため、引き続きマスコミ等を活用した様々な情報発信を行ってまいります。

1点目に、「農畜産業の振興」について、申し上げます。

農畜産業の生産力の強化を図るため、昨年度は「もとぶ産農水産物消費拡大推進条例」を制定し、町民全体で自産自消に向けた取り組みを強化してきたところであります。今年度は、さらに踏み込み、かりゆし市場を中心に関係機関と一体となった販売プロモーションの展開による消費拡大を推進してまいります。

拠点産地の認定を受けているシークワサーについては、「もとぶパワー酢みかん」のブランドとして、新たな商品開発および消費の拡大に繋がるよう推進してまいります。

生食用パインは、「もとぶかりゆしゴールド」として、本町のブランド商品に位置付け、台風等自然災害に強い栽培施設を導入し、さらなる品質向上を目指してまいります。

拠点産地として認定を受けている輪ギク、アセローラ、タンカンについては、J

A本部支店や花卉農協等と連携し、その振興を図ってまいります。ゴーヤー、キャベツ、カーブチー、パッションフルーツ等の少量多品目の野菜・果樹についても、関係機関と連携を取り合い、振興に努めてまいります。

基幹作物であるサトウキビは、農家の高齢化に伴い生産面積が減少しております。離農者の畑を有効に活用するため新たな担い手に引き継ぐ等、その対策を推進してまいります。

肉用牛においては、「もとぶブランド牛基盤づくり支援事業」を引き続き展開し、優良牛の導入を推進いたします。

カラス等の有害鳥獣による被害対策については、今年度も引き続き、捕獲個体の買い取りおよび他市町村と連携した広域駆除活動を行うことで、被害対策を実施してまいります。

農業団体の育成については、「本部町の農業を元気に

にするネットワークの会」を今後とも積極的に支援してまいります。

また、新規担い手農家の確保については、「農水産業担い手支援住宅」の事業を計画するなど、新たな担い手の育成に取り組んでまいります。

農業基盤整備については、新里かんがい配水施設の整備事業および伊豆味クカルビ地区の排水路整備、伊豆味古嘉津宇・唐又地区の護岸整備並びに排水路整備事業を引き続き実施してまいります。

2点目に、「水産業の振興」について、申し上げます。

本町の水産業はカツオなどの沿岸漁業とモズク養殖、マグロ養殖、海ブドウ養殖などの養殖業が中心となっております。

水産業の振興については、カツオ漁の活性化を図るため、新たな漁法の導入による水揚げ量の増加および鮮度保持技術による高付加価

値化を図り、漁業者の所得向上につながるよう取り組みを実施してまいります。

マグロ養殖業については、町内に立地するホテルや飲食店のニーズを汲み取り、観光客や町民が食することができる体制づくりを支援してまいります。

3点目に、「森林の保全」について、申し上げます。

自然豊かな本町にとって、特に八重岳の森林地域は自然保護区の指定や水源涵養林、保健保安林に指定されるなど森林機能としても重要な位置づけがされております。また、日本一早い桜まつりが開催されるなど貴重な財産でもあり、森林資源の確保に向けて、下草刈りや雑木の伐採、桜への施肥作業等を行い、今後とも積極的に保全してまいります。

また今年、沖縄県植樹祭が本町で開催されることから、イベントを契機に、さらなる緑化推進意識の高揚に努めてまいります。



きまりを守り互いに力を合わせて明るい町をつくります(本部町民憲章より)



4点目に、「商工業の振興」 について、申し上げます。

商工業の振興につきましては、本部町商工会を中心に製造業者、生産者等が一体となり「もとぶ産業クラスター形成事業」により、特産品開発の支援に取り組んでいるところであります。

また、特産品の販売戦略の構築が重要であることから、「もとぶかりゆし市場」を拠点に地域特産品販売を支援してまいります。

「メイドインもとぶ産品成長産業化推進事業」を活用し、県内外および海洋博公園内での販売促進活動の支援を引き続き推進してまいります。

5点目に、「観光の振興」 について、申し上げます。

令和元年の本町の入域者数は521万人と前年比で1.7%の増となっております。

年々増加の途にあります観光客ですが、目的地については、海洋博公園が主流となっており、町内へ分散させることが課題となっております。

観光地として、町全体としての魅力を高めるため、年始より開花を迎える「リュウキュウベンケイソウ」をはじめ、「桜」、「ペゴニア」、「山ゆり」、「あじさい」などの花をテーマとしたイベントの情報発信等を強化し、引き続き観光協会および観光関連事業者との連携を図り、町中への誘客を行ってまいります。

国際旅客船拠点形成港湾に指定された本部港は、そのソフト面の対応として、北部振興会を中心とした「やんばるインバウンド・クルーズ推進部会」が設置され、北部地域全体でのクルーズ船受入に取り組み事となっております。本町と

しても「本部港クルーズ促進協議会」を中心に、町内の受入体制の整備に着実に取り組んでまいります。

今般、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、イベントの自粛や不要不急の外出を控えるよう国あげでの取り組みにより、旅行者が激減している状況であります。終息を迎える段階で観光協会など町内外関係団体および関係企業と連携し、早急かつ強力な誘客対応に取り組んでまいります。

第3に、「生活環境の整備 について」申し上げます。

1点目に、「町道整備」 について、申し上げます。

住民の生活の利便性を確保するため、道路整備は極めて重要であります。

町道の整備につきまして、北部振興事業を活用して4つの路線を整備しております。

4路線の整備状況につき

まして、まず、瀬底島一周線は、本格的な用地買収に着手し、流末排水と道路の一部を整備いたしました。引き続き用地買収を加速させ、道路本体を順次整備してまいります。

石川謝花線および嘉津字具志堅線につきましては、用地買収および流末排水と道路の一部を整備しております。今年度からは本格的に道路本体の整備を行ってまいります。

満名川線は、用地買収を進めながら橋梁の整備を行っております。今年度は橋梁の下部工を完了させるとともに、用地買収と並行して、道路本体の整備も進めてまいります。

沖繩振興公共投資交付金を活用し、整備しております健全本部落線については、令和2年度中に全線整備分の予算を確保することができました。今年度で残りの約1kmを整備し、全線を開通いたします。

社会資本整備総合交付金

を活用した橋梁長寿命化修繕事業につきましては、昨年、伊野波橋の上部工が整備できる分の予算を獲得いたしております。伊野波橋改修事業は、令和2年度中で完成し開通させるよう取り組んでまいります。

2点目に、「町営住宅の整備」 について、申し上げます。

定住人口の確保のためには、町営住宅の整備が喫緊の課題であります。令和元年度は、北部振興事業を活用して新里第2団地を整備いたしました。16世帯62人の子育て世帯が入居し、地域の更なる活性化が図られているところであります。

また、同事業を活用し、謝花第2団地の整備工事にも着手しており、今年度中には完成させる予定であります。

令和2年度以降も同事業を活用し、順次子育て支援住宅を整備し、定住人口の確保に努めてまいります。



思いやりの心でいたわり助けあって住みよい町をつくります(本部町民憲章より)

本部港は、国の特定地域振興重要港湾として位置づけられており、沖繩県が進めておりますクルーズ船対応のバースが完成しますと、さらに多くの外国人観光客を受け入れることとなります。

北部地域の物流拠点としての位置づけも含め、これから本部港が担っていく役割は、増々大きくなつてきます。さらなる港湾施設の整備、そして管理の強化が必要となることから、管理者であ



3点目に、「港湾整備」について、申し上げます。

る沖繩県と連携して、その整備に努めてまいります。

4点目に、「国道449号・県道84号・満名川の整備」について、申し上げます。

本部町内において、整備が進んでおりますこれらの事業について、その事業主体は沖繩県であります。

本町のさらなる発展と、安全で快適な町民生活を確保するため、今後も沖繩県に対して各事業の早期完了を強力に要請してまいります。

第4に、「福祉・保健・衛生」について申し上げます。



1点目に、「福祉の充実」について、申し上げます。

本町の少子高齢化は、急速に進行し、高齢化率が5年前(平成27年)の25%から現在(令和2年1月末)の30%と増加しております。出生においては、年間100人から120人台で推移しており、少子化の状況が続いております。

こうした中、「全世代・全対象型包括支援体制」の構築が課題となっております。特に子どもや子育て世代、老人や障がい者を含めた地域共生社会の体制づくりが重要となっております。

このようなことから、令和2年度の福祉施策といたしましては、区長や民生委員・児童委員、社会福祉協議会など前線で福祉活動に従事されております関係者と連携を強化し、「誰もが住みよい町づくり」を目指して取り組んでまいります。

児童福祉につきましては、子育て世帯の経済的負担感の軽減および支援の充実を

図るために「子ども・子育てゆいまいる基金」を活用し、様々な事業を展開してまいります。

新たな取り組みといたしましては、①子どもの居場所づくり特別支援。②保育園児の主食費への補助。③双子等、多胎児世帯への特別支援などを展開してまいります。

次に、本部小学校敷地内に設置を予定している公設児童クラブにつきましては、令和元年度に設計が完了したことから、令和2年度に施設の整備工事を着手・完了せしめるよう取り組んでまいります。

また、子どもの貧困対策等につきましては、学校現場など関係機関と情報共有を密にし、きめ細やかな支援体制を構築してまいります。

老人福祉につきましては、急速に進む高齢者人口増加に対応するため、「健康長寿の町」をスローガンに、

多様な健康づくり事業を推進してまいります。

また、これまで活発に活動されている本部町老人クラブ連合会を継続的に支援し、元気でイキイキとした生き甲斐づくりにつなげてまいります。

さらに、国が進める「地域包括ケアシステム」を推進し、その体制づくりに取り組んでまいります。

障がい福祉につきましては、障がいのある方の相談や緊急時の受け入れ体制を備えた新たな「地域生活支援拠点等」の整備を推進してまいります。

また、障害者優先調達推進法に基づく安定した就業場の確保を図るため、障害福祉事業者などとの連携を強化してまいります。

2点目に、「保健・衛生」について、申し上げます。

健康づくり推進に関しましては、町民が自ら健康状態を把握し、生活習慣病の予防、改善、さらには病氣



の早期発見を図るため、休日や夜間健診を実施するなど、受診率の向上に努めてまいります。

健診後の保健指導においては、糖尿病など、生活習慣病の重症化予防を重点的に実施してまいります。

また、健康教室等の住民向け講座や運動指導を通して、町民の健康意識の醸成に取り組んでまいります。

インフルエンザ等の予防接種の費用助成については継続して実施してまいります。

国民健康保険事業につきましては、都道府県が財政運営の責任主体となり、制度の安定化が図られつつあります。

しかし、一方で医療費の増加により、財政運営は依然として厳しい状況にあります。

主要な財源となります国民健康保険税については、引き続き夜間相談をはじめとする納税相談および分納指導等を積極的に行ってまいります。

母子保健事業につきまし

では、新たに妊婦歯科健診の費用助成事業を実施し、早産や低体重児出産の要因となる妊娠期の歯周病予防など、口腔健康管理を推進してまいります。

昨年設置しました「本部町子育て世代包括支援センター」においては、妊産婦および乳幼児の状況を包括的に把握し、妊娠、出産、子育てに関する不安軽減など、きめ細やかな支援を引き続き行つてまいります。

環境衛生につきましては、ごみの資源分別の意識を高め、減量化と資源化を推進してまいります。

不法投棄につきましては、パトロールや看板の設置等を粘り強く継続し抑止に努めてまいります。

ハブ対策については、引き続き捕獲器を増設し、個体数を減少させるよう対策を強化してまいります。

第5に、「上下水道事業について」申し上げます。

水道事業につきましては、維持管理の軽減を図るため、「並里浄水場」と「笹川浄水場」の機能を統合し、「新浄水場」の整備を引き続き推進してまいります。令和2年度は、用地買収と一部土木工事を施工してまいります。

水道事業経営を維持するため、今後も安定した水の供給と老朽管対策、漏水調査を行い、有収率の向上に努めてまいります。

本町の公共下水道は、44年が経過し、各所で老朽化が進んでいる状況であります。

令和2年度においても、浄化センターやポンプ場等の施設を改築する「ストックマネジメント計画」を策定し、これからの更新、修繕について検討してまいります。

下水道の接続率は、引き続き下水道接続への理解と協力を得ながらその向上に努めてまいります。

第6に、「幼稚園教育・学校教育・社会教育について」申し上げます。



まいります。

1点目に、「幼稚園教育」について、申し上げます。

幼稚園教育につきましては、新たに教育施策の重点項目として位置づけました。町内全幼稚園のセンター的役割となる本部幼稚園に専任園長を配置し、保育園や小学校との連携強化や全幼稚園の研修を充実させ、きめ細かな幼稚園教育に取り組んでまいります。

2点目に、「学校教育」について、申し上げます。

学校教育においては、確かな学力と健やかな心と体、郷土愛に満ちた心豊かな人間性の育成に取り組んでまいります。

令和2年度においても「人間性」、「学び」、「自立心」の3つの力を「人間力」として、人材育成に努めてまいります。

新学習指導要領が完全実施となることから、小学校ではプログラミング教育が

本町の教育理念は、「武本部」と称される「質実剛健」で「進取の気性」に富んだ「文武両道」の精神を人材育成の基本に掲げております。

未来を担う子ども達が、生まれ育つた本部町に愛着を感じ、「ふるさと本部町」に誇りを持つ人材の育成に努めてまいります。このため、幼稚園教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実を重点目標とした、教育施策を引き続き展開して



「武本部」とは、進取の気性に富み、質実剛健で文武両道の町民性のことだよ！

スタートします。

専属のICT支援員の配置やICT教育環境の二層の充実を図り、新しい時代に必要となる情報活用能力の向上を推進してまいります。

上本部小学校と中学校の小中一貫教育校につきましても、校舎等の整備が完了し、令和2年4月1日から開校いたします。

特色ある教育活動として、小学1年から中学3年までの実践的な英語教育、地域教育資源を活用した三線や空手など、「ふるさと学習」の実施に取り組んでまいります。

学校給食は、食を通じて生活習慣や食べ物に関する知識を身につけ、健康な体をつくるなど、極めて重要なことでもあります。食材につきましても、町内業者と連携し、地元の新鮮で安全な食材を優先して使用を進めてまいります。

本部高校の支援につきましても、その拡充を図り、

国公立大学進学およびそれに準ずるコースの設置など、より高いレベルを目指した塾の構築支援に取り組んでまいります。

小中学校の学力向上の支援につきましても、「子ども・子育てゆいまいる基金」を活用し、新たに、①幼稚園児の絵本にふれあうための学習支援、②ハイレベルチャレンジの各種検定支援、③中学校への進学時支援、④ICT教育の充実を図るためのデジタル教科書の導入、⑤県外・県内派遣費支援、⑥地域コーディネーターを活用した放課後子ども教室の拡充など、強力な支援を展開してまいります。

3点目に、「社会教育」について、申し上げます。

社会教育の振興につきましては、外国語講座、自然観察教育等を継続的に実施してまいります。さらに、各字公民館と連携し、夏休みを利用した地域学習教室や子ども会活動にも取り組んでまいります。

んでまいります。

また、本部町文化協会等と連携し、もとぶ展や企画展など、文化活動をより一層支援してまいります。

スポーツ振興につきましては、町民が気軽にスポーツに親しめるよう、町民体育館、運動公園、各学校の体育館などを開放し、町民の健康や体力の維持向上に、より一層努めてまいります。

多機能観光支援施設の新築工事につきましては、令和元年度から建設に着手しており、令和2年度末には完成させるよう、取り組んでまいります。

第7に、「自主財源の確保について」申し上げます。

地方自治体は、自らの判断と責任において、効率的・安定的な財政運営が求められております。財源の確保につきましては、町税をはじめとする自主財源の確保・拡充に取り組んでまいります。

収納率向上の取り組みにつきましても、納税相談員による納付督促などにより、さらなる収納率の向上に努めてまいります。

ちなみに、平成26年度から平成30年度間の収納率（現年度分+過年度分）の状況は、

町民税が、96.5%から98.0%（1.5%増）、固定資産税が、86.2%から93.8%（7.6%増）、軽自動車税が、92.2%から95.2%（3.0%増）となっており、金額にして9億5千万円余りから12億1千万円余りと約2億6千万円の税収額の増加が図られております。

「ふるさと納税」の応援寄附につきましては、本年度におきましても、多方面に応援寄附の協力を働きかけ、魅力ある町づくりにも有効活用を図ってまいります。

自主財源の確保を引き続き図り、本町の限られた財源の中で町民本位の質の高い行政サービスの提供に努

めてまいります。

おわりに

以上、令和2年度の町政運営にあたり、主要施策の概要につきまして、重点事業と新規事業を中心に、その一端を申し述べました。

施策の推進にあたりましては、全職員連携のもと、総力を上げて施策を遂行してまいります。

また、本年は、町制施行80周年を迎えております。町制施行日には、町民挙げての祝賀を予定しており、町民の皆様と共に祝したいと思います。

最後に、本年度においても、「日本一心豊かな町づくり」を実現すべく、全力で取り組んでまいりますので、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。令和2年度の施政方針いたします。

令和2年3月10日

本部町長 平良武康



伊豆味のクメノサクラは観に行ったかな？そろそろテッポウユリが咲き始めるね。

瀬底小学校 創立130周年

記念式典・祝賀会



児童の皆さんによる合唱



最後はみんなでカチャーシー！



瀬底芸能愛好会によるかぎやで風



式辞を述べる平良児童会長

2月23日、瀬底小学校創立130周年記念式典・祝賀会(主催・同校創立130周年期生会)が同小学校体育館で開催され児童、教職員、保護者のほか地域住民、同窓生など約400人が来場しました。同校は明治23年2月11日に瀬底簡易小学校として創立して以来130年に渡り、学びの場や地域コミュニティの場として親しまれてきました。

式典では、事業経過報告や、歴代校長、PTA会長などへの感謝状の贈呈が行われました。児童会長の平良玲果さんは式辞の中で「130年という長い年月の間、多くの児童が学び、たくさんさんの思い出とともに歩んできました。私たちが卒業し、大人になっても、ここで学ぶ子ども達の笑い声や楽しそうなおしゃべりが聞こえてくる学校であつてほしいと思います」と話しました。

多数の「寄附ありがよひ」がいます 子ども・子育てゆいまーる基金

- 石坂美砂 5万円
- シヤンソンコンサート実行委員会様 5万円
- 故 仲間 勝子様 10万円
- シークワサー模合様 10万円
- もとぶピージャー生産組合様 5万円
- 琉球セメント株式会社様 20万円
- 饒平名知英ほか兄妹一同様 50万円
- もとぶ歌菜里蛙友の会様 10万円
- 株式会社 渡久地組様 68万円
- 株式会社 総合水研究所様 50万円
- 株式会社 沖繩ローションセンター様 40万円
- 匿名様(2者) 70万円
- 比嘉博人様 10万円
- 株式会社 シビルエンジニアリング様 10万円
- もとぶゴルフ愛好会様 2万円
- 永藏工業株式会社様 10万円
- 本部生コン株式会社様 10万円
- 特定非営利活動法人 警防団防人様 5万円
- 農産生産法人 10万円
- もとぶウエルネスフーズ株式会社様 10万円
- 沖繩ハム総合食品株式会社様 200万円
- 有限会社 北部通信建設様 20万円
- 新沖繩精器株式会社様 20万円



渡久地組が 子育て基金に寄附

2月19日、株式会社渡久地組(渡久地弘二社長)が町内の子どもたちの育成に役立ててほしいと子ども・子育てゆいまーる基金に50万円の寄附を行いました。

平良町長は「民間事業者が、町の施策に賛同し、協力することは重要だ。このような輪が広がってほしいと願っている」と話しました。



寄附金を手渡す渡久地社長(左)



4月6日～15日は春の全国交通安全運動が実施されるよ。「しっかりと 止まってかくにん 横だん歩道」

消防だより —あなたのお店には消火器はありますか—

令和元年10月1日以降、火を使用するすべての飲食店に消火器の設置が必要となりました。忘れずに設置しましょう。

【消火器を設置するにあたって】

- ①消火器を設置します。標識も忘れずに！（最寄りの販売店等でご購入ください）
- ②消火器を設置後、6ヵ月ごとに点検し、1年に1回管轄の消防署へ点検結果報告書を提出します。
※以下の装置があれば消火器の設置は免除できます。
 - ・調理油加熱防止装置
 - ・自動消火装置（火災を感知し消火薬剤で自動消火するもの）
 - ・その他の危険な状態の発生の防止および発生時における被害を軽減する安全機能を有する装置（例：圧力感知安全装置）

【点検・報告書等について】

詳細に関しては本部町今帰仁村消防組合消防本部ホームページに掲載していますのでご覧ください。

消防本部ホームページはインターネットにて「本部町今帰仁村消防組合消防本部」と検索、もしくは以下のURLまたはQRコードからアクセスを行ってください。

URL：<http://motobu-nakijin-fire-119.town.motobu.okinawa.jp/>



お問い合わせ 本部町今帰仁村消防組合 予防課 TEL.51-6222

第十一回特別弔慰金の 請求期間が始まります

戦没者等の遺族の方へ

先の大戦で公務等のため国に殉じた元軍人、軍属及び準軍属の方々に思いをいたし、その遺族に対し、国として弔慰の意を表すことを目的として特別弔慰金が支給されます。請求期間は**令和2年4月1日から令和5年3月31日まで**です。提出書類などについては下記担当課までお問い合わせください。

お問い合わせ 福祉課 TEL.47-2165

乳がん・子宮がん 集団検診のお知らせ

Step.1 自宅に届いた「健診通知書・がん検診受診券」で対象の検査を確認。

Step.2 下表からお好きな日程を選んで予約をとる。

（子宮頸がん検診は予約不要）

Step.3 「健診通知書・がん検診受診券」を持って会場で受診する。

実施日	会場	実施される検診	予約	検診受付時間
4月13日	地域福祉センター	乳がん検診	必要	午後2時～3時
		子宮頸がん検診	不要	
4月20日	地域福祉センター	乳がん検診	必要	午後2時～3時
		子宮頸がん検診	不要	
8月23日	本部町役場	乳がん検診	必要	午前8時30分～10時30分

【注意事項】子宮頸がん検診は直近の生理から5日以上経過していなければ受診できません。

予約・お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-5602

ごみ出しのルールとマナーについて

ごみ出しの時間を守りましょう

ごみは**朝8時**から収集しています。

朝8時までにごみ出しを行わないと収集されない恐れがあるためごみ出し時間を守りましょう。

※収集時間は天候や交通事情により一定ではありません。

※ごみ収集車の音楽はゴミ収集の合図ではなく、**危険防止**のために流しています。音楽を聴いてからごみ出しを行うのではなく**朝8時**までにごみ出しを行ってください。

決められた場所へ

ごみ出しは決められた場所に出してください。集積所の場合、管理は利用されている皆さんで行って頂いております。1人がルールを守らないと他の方に迷惑がかかってしまいます。気持ちよく利用できるようマナーを守り正しく出しましょう。

また、ごみがガラスやネコ等に荒らされると、近隣の方の迷惑になります。ガラスよけネットやケージを活用し、清潔な環境に保ちましょう。

粗大ごみの出し方

①本部町役場健康づくり推進課へ電話予約をする。（1回の受付につき1世帯4点まで、5点以上の場合は環境美化センターへ直接持込むことも可能です。その際は事前連絡が必要です）

電話予約 TEL.0980-48-3171

②粗大ごみ処理券を購入する。（粗大ごみ1個又は1束につき、町が指定する粗大ごみ処理券（300円）を販売店【スーパー・コンビニ等】で購入してください）

③粗大ごみ処理券を粗大ごみに貼る。（粗大ごみ処理券にお名前、受付番号を記入し、粗大ごみの見やすいところに貼り付けてください）

④指定された場所に出してください。（指定された日の**朝8時**までに、指定された場所へ粗大ごみを出してください）

※詳細は本部町ホームページにて確認することもできます。

収集日を守って

収集日は地区によって異なります。ごみ出しの日を守らないと、ごみの散乱につながります。決められた収集日にごみ出しをするようお願いいたします。

分別をしましょう

ごみの中には資源となるもの（ペットボトルや紙類等）がたくさんあります。資源を有効活用するためにもごみの分別にご協力をお願いします。

お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-5602



【町民税・軽自動車税・固定資産税・国民健康保険税】の納付は便利な口座振替がおすすめです。

令和2年度 会計年度任用職員(保健師・看護師)の 募集について

- 【契約期間】 令和2年4月～令和3年3月（審査による更新あり）
- 【業務内容】 ①家庭訪問等による健診結果に基づく住民への保健指導
②その他（窓口、電話対応等）
- 【報酬】 保健師及び看護師 月額200,154円
- 【期末手当】 保健師及び看護師 年額188,645円（年2回）
- 【休日】 土、日、祝祭日
- 【採用予定人数】 1名（保健師、看護師のうち）
- 【必要な資格等】 ・保健師資格、看護師資格のいずれかを有する者
・パソコン操作（エクセル、ワード）可能な方
- 【申込方法】 履歴書1部と、各免許のいずれかの写しを本部町役場健康づくり推進課へ提出。
※提出していただいた履歴書等については返却しませんのでご了承ください。
- 【採用選考等】 面接を行い、本人宛に書面にて通知
（必ず採用があるとは限りませんのでご了承ください）



お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-5602

令和2年度 本部町営市場出店希望者の募集

町営市場への出店希望者を次のとおり募集いたします。

- 【空き店舗】 2-1、7-3
- 【月使用料(税抜)】 2-1 (8,990円)、
7-3 (9,740円)
- 【応募条件】 平成31年1月1日時点で本部町内に住所を有している者、町税等の未納がない方
- 【募集期間】 令和2年4月6日（月）～
5月8日（金）



- 【申込方法】
- 《個人事業者》 専用の店舗使用許可申請書、完納証明書、任意の事業計画書等を提出
- 《法人事業者》 専用の店舗使用許可申請書、登記事項証明書（履歴事項全部証明書）、町税の完納証明、任意の事業計画書等を提出
- ※事業計画書 例：事業概要・開業の目的、動機、収支計画、営業日数・時間、事業経験、経歴・商品メニュー案等
- 【申込用紙配布場所及び受付場所】 本部町企画商工観光課
商工観光振興班

お問い合わせ 企画商工観光課 TEL.47-2700

屋外放送設備の不具合について

本町内に設置している屋外放送設備に故障が発生し、広範にわたって放送の不具合が発生しています。

現在故障機器の交換など復旧作業に鋭意取り組んでいるところですが、中国で機器の生産が停止しており、復旧作業完了の目途がたっておりません。

住民の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解頂きますようお願いいたします。

お問い合わせ 総務課 TEL.47-2101

住民健診が4月から始まります！

Step.1 自宅に届いた「健診通知書・がん検診受診券」で対象の検査を確認。

Step.2 「健診通知書・がん検診受診券」と「特定健診受診券」を持って好きな日程に会場で受診する。

健診日	健診会場	備考	受付時間
4月8日	水 瀬底老人会館		午前8時30分 ～ 10時30分
4月9日	木 豊川公民館		
4月10日	金 本部町役場	送迎あり	
4月11日	土 本部町役場	「送迎時刻表」参照	
4月13日	月 地域福祉センター		
4月14日	火 崎本部公民館		
4月15日	水 健堅公民館		
4月16日	木 本部町民体育館	送迎あり	
4月17日	金 田空の駅 ハーソー公園	「送迎時刻表」参照	
4月20日	月 伊豆味公民館		
4月21日	火 備瀬公民館		
5月9日	土 本部町役場	予約制 TEL:47-5602	
6月14日	日 本部町役場		
8月23日	日 本部町役場		
10月4日	日 本部町役場		

送迎時刻表

日付	発車時刻			行き先
	午前8時	8時10分	8時20分	
4月10日	金		辺名地公民館 発 谷茶公民館 発	本部町役場
4月11日	土		伊野波公民館 発 並里公民館 発	本部町役場
4月16日	木	野原公民館 発	浦崎公民館 発 浜元公民館 発	町民体育館
		古島公民館 発	大堂公民館 発	
4月17日	金	謝花公民館 発	北里公民館 発 嘉津宇公民館 発	ハーソー公園
		新里公民館 発	具志堅公民館 発	

※帰りの各公民館行きの便は、健診終了後に発車します。

予約・お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-5602



納付書の納付期限が平成表記になっている場合がありますが、新年号(令和)で読み替えてくださるようお願いいたします。

ご寄付 ありがとうございます。 本部町ちゅらまちづくり応援基金

令和2年1月16日～2月15日分

件数644件 総額24,456,000円

●詳細は町ホームページに随時更新予定です。

本部町への応援メッセージ

寄付していただいた方々から町への応援メッセージが多数寄せられていますので、一部を紹介させていただきます。

- 毎年サイクリングで伺っていますが、今年は伺えなかったのでもずはこちらで応援します。また行ける日を楽しみにしています。
- 本部のマンゴー、美味しくて、友人にもすすめたら感動していました。農家の皆様、今年も楽しみにしています。
- これからの本部町に期待しています！

4・5月の町内行事・イベント情報

日程	行事・イベント	場所
4月	7日 本部中・本部高校入学式	
	8日 全小学校・上本部学園・伊豆味中学校入学式	
	19日 もとぶ手作り市(予定)	町営市場

5月	17日 もとぶ手作り市(予定)	町営市場
----	-----------------	------

●町内イベントは町ホームページのイベントカレンダーでも確認できます。

国勢調査 調査員募集のお知らせ

本部町では国勢調査員として調査業務に理解と熱意を持って携わっていただける、原則20歳以上の方を募集しています。国勢調査員の身分は、総務大臣に任命される非常勤の国家公務員です。業務期間は令和2年8月下旬から10月の予定です。

【調査員の仕事内容】

- ①調査員説明会への参加
- ②担当地域の確認
- ③調査についての説明と調査書類の配布
- ④調査票の回収
- ⑤調査票の整理と提出

【報酬】

- 1調査区担当(約60世帯) 4万円程度
- 2調査区担当(約100世帯) 7万円程度

※興味のある方は、お早めに下記の連絡先までご連絡ください。



お問い合わせ 企画商工観光課 TEL.47-2702

夜間納付相談日について

納付月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税		○ 1期		○ 2期					○ 3期		○ 4期	
町県民税			○ 1期	○ 2期	○ 3期					○ 4期		
軽自動車税		○										
国保税				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	
後期高齢				○ 1期	○ 2期	○ 3期	○ 4期	○ 5期	○ 6期	○ 7期	○ 8期	○ 9期

4月の夜間納税相談日 **令和2年4月27日(月)** 午後5時30分～7時30分

※毎月25日実施(25日が休日であれば翌平日)※納税相談の際は、事前に電話連絡をお願いします。

相談できる税/固定資産税・町県民税・軽自動車税・国保税・後期高齢者医療保険料

お問い合わせ 健康づくり推進課 TEL.47-2701、住民課 TEL.47-5629

認知症を学ぼう！ —認知症サポーター養成講座—

本部町では認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成していきたいと考えております。

自分自身の問題や家族、友人のために、多くの皆さんが認知症について知ること、認知症の方々にやさしく寄り添える町にしましょう。

【対象者】本部町内にお住いの方。10名以上から申し込みを承ります。

※10名に満たない場合でも、ぜひご相談ください。例えば…

地域で	老人会、婦人会、子ども会、ボランティア団体など
職場で	職種は問いません。 銀行、郵便局、小売業、運送業(タクシー・バスなど)、商工会など
学校で	小・中学校及び高等学校の生徒、教職員、PTAなど
その他	趣味の集まり、友人同士のグループなど

【受講料】無料

【講座時間】1時間から2時間程度(相談可)

【受講方法】日程調整や教材の準備に時間が必要になります。電話にて、担当までお問い合わせください。

お問い合わせ 地域包括支援センター(福祉課内) TEL.43-0565

令和2年度 高校育英貸与奨学生および 高等学校貸与奨学生の募集

令和2年度の貸与奨学生を下記のとおり募集します。

【内容】令和2年4月に高等学校、専修学校等課程などに在学している生徒を対象とする奨学生の募集

【応募資格】①沖縄県内に住所を有する者の子弟

②令和2年4月に高等学校、専修学校等課程などに在学している生徒

【申込方法】出願書類を学校から受け取り、学校が定める提出期日(概ね4月中旬頃)までに学校へ提出

お問い合わせ 在学している学校の奨学金担当者へご確認ください。

本部中学校野球部が 国頭地区大会優勝!

1月25日から2月2日にかけて開催された第1回阿部慎之介杯争奪国頭地区中学校軟式野球大会において本部中学校が見事優勝を果たしました。本部長は1回戦から10対0と大勝し、決勝戦で羽地中学校に5対1で勝利し、大会通算1失点で優勝しました。

キャプテンの小濱大夏さんは「これから、ピッチャーでもバッターでもチームに貢献し、引つ張れるよう頑張りたい」と今後の意気込みを語りました。

なお、本部中学校は2月29日から3月1日に開催された県大会においてもベスト4入りと好成績を収めています。



地区大会優勝を果たした本部中学校野球部

来年の開花を願い 八重岳桜にお礼肥入れ

1月に綺麗な花で桜まつりを盛り上げてくれた八重岳の桜に感謝を込め2月25日、桜の森公園内でお礼肥入れ(主催・町、本部まつり実行委員会)が行われました。この取り組みは、まつり期間中に来場者からいただいた「桜の保全育成協力金」を活用しており、本部町の農業を元気にするネットワークの会、本部高校生、渡久地保育所の園児たちなど約50人が参加しました。参加者は「来年もまた咲かせて」と願いを込めながら桜の木約400本に肥入れを行いました。

また、28日には本部町議会議員全員で同公園付近の桜200本へお礼肥入れを行いました。



桜に肥料をあげる渡久地保育所の園児たち

水納小中学校 卒業式

3月7日、水納小中学校の卒業式が行われました。同校は小学6年生1人、中学3年生1人が在籍しており、令和2年度は休校となります。

式には島民や歴代の教職員など約50人が参加しました。卒業認定、卒業証書授与が行われた後に、これまでの2人の思い出を振り返るアルバムが上映され、児童生徒だけでなく島民全員で学校行事を楽しむ様子などが流れました。

お別れのことばで小学生の宮里琉太さんは「小学校ではいろいろな人に支えられ、様々な体験やコンクールなどに挑戦できた。中学校は島の外に出るが、もつといういろいろなことに挑戦したい」と話しました。湧川海色さんは「小学校、中学校と多くの人に支えられた。迷惑をかけることもあったが、中学校を卒業することができ、感謝の言葉を贈りたい」と話しました。



皆で門出を祝福

本部半島多機能観光支援施設

2月12日、字大浜の中央公民館大ホール跡地で本部半島多機能観光支援施設の起工式が行われました。同施設は本部町、今帰仁村、伊江村の自然、歴史・文化等の魅力の情報発信、体験・交流、郷土学習、各種研修などの機能を備えた拠点となっており、国内外からの観光客の多様なニーズへの対応や教育旅行民泊の受け入れ拡大などを図ることで、観光振興や地域活性化が期待されています。国の沖縄北部連携促進特別振興事業を活用しており、総事業費が21億8千万円で2020年度完成を予定しています。

平良町長は「町が発注する工事としては最大規模のものである。工事を請け負った町内業者の皆さんには高い品質のものを作ってもらい、その技術を町内外にPRしてほしい。この施設が町の発展の原動力となることを願っている」と話しました。

起工式



施設の完成を願い鍬入れ